

神奈川施保連二ニュースVOL.98

発行人神奈川県知的障害者施設保護者会連合会 会長 大矢 武久
編集同上広報部会 HP:<http://w01.tp1.jp/~a368318200/>



神奈川施保連設立50周年 「記念のつどい」開催報告

「神奈川施保連設立50周年記念のつどい」を令和元年5月13日(月)に、「ローズホテル横浜」において開催しました。
県知事(代理)をはじめ県施設団体連合会・会長、全施連・理事長、を来賓に迎え第一部・式典、第二部・基調講演、第三部・パネルディスカッションという構成により行われましたが、式典には法人・施設関係者、加盟保護者会・会員161名が、また、祝賀会にも121名という多数の参加がありました。

第一部 式典

神奈川施保連・大矢武久会長の主催者あいさつの後、来賓の県福祉子ども未来局・香川知佳子局長、県知的障害者施設団体連合会・出縄守英会長、一般社団法人全国知的障害者施設家族会連合会・由岐透理事長の皆様から祝辞をいただきました。

第二部 基調講演

基調講演は、社会福祉法人恵和・前理事長の彦坂健一郎氏を講師に迎え、「知的障害のある人たちの生活の場と支援」をテーマに行われました。「恵和」における家族会からの意見集約結果を踏まえ、利用者にも最適した生活の場とはどこなのかについて、長い実務経験にもとづくお話がありました。非常に参考になると同時に、支援にあたる皆さんも家族会の意向を汲みとって、日々努力されていることを感じました。当日の参加者の中には、この講

演を聞くために参加した施設関係者もいたようです。



第三部 パネルディスカッション

- ★コーディネーター
神奈川施保連顧問・岩本邦雄
 - ★パネラー
(社)横浜共生会
花みずき施設長・原田淳氏
 - (社)すぎな会
理事長補佐・山上裕之氏
 - 神奈川施保連理事
鴨志田直紀および嶋田芳樹
- ★施設関係のパネラーから「地域とは何か」・「障害のある方を一



括りにしていかないか」・「入所施設と終の棲家」・「高齢化と施設サービス」・「多様化したニーズに対応する事業展開」・「医療的な支援の限界」などについて、それぞれ発言がありました。
★神奈川施保連の理事からは、家族の立場から「法人・施設と家族のありかた」・「地域移行」・「意思決定支援」に関する問題点などについて発言がありました。
★その後、岩本コーディネーターから、「生活の場としてのGHと入所施設のの違い」・「GHでの生活の利点・課題」等についてパネ

祝賀会

ラーの意見を求め、それぞれ発言がありました。
★また、会場の参加者から、「施設を働きやすい魅力的な職場にすることや、支援員の配置・支援の質の向上をどのように考えるか」・「会員の高齢化による家族会弱体化への対応策にアドバイス」などの質問・意見があり、活発な意見交換が行われ盛り上がりました。
あらかじめ指定されたテーブルごとに各家族会が着席し、和気あいあいとした雰囲気の中で進められ、また、他の家族会との交流も深めていました。
祝賀会には、来賓や法人・施設関係の方々も多数出席され、情報交換等も活発に行われるなど、盛会のうちに開催になりました。



リレー投稿 厚木精華園及び家族会の紹介

厚木精華園家族会 山口重裕

厚木精華園は高齢知的障がい者支援の先駆的・モデル的施設を目指して設置された。

- ・所在地：厚木市上荻野4835の1
- ・最寄り駅は小田急線本厚木駅下車、そこから路線バスで北へ25分、「東谷戸入口」停留所下車、さらに北へ（野百合園、紅梅学園の近くを通り過ぎ、真弓川沿いに）、緩い上り坂の徒歩で約25分の所にある。
- ・公共交通機関でのアクセスは不便だが緑豊かな山間地にあり、都会の喧騒をさけての開放的でゆったりとした生活には適した立地である。
- ・1994年（平成6年）年7月神奈川県立厚木精華園として開設された。

現在は社会福祉法人「かながわ共同会」が県の指定管理者として運営する施設で、概ね45歳以上の高齢あるいは医療的ケアを必要とする中・高齢知的障がい者を支援するモデルの施設として位置づけられ



ている。当初の、入所者の平均年齢は52歳であったが、25年経過した、現在の平均年齢は68歳と急速に高齢化が進んできた。最若年43歳、最高齢88歳、男性68名、女性38名。

・高齢知的障がい者支援に関する研究活動成果や支援ノウハウの情報をセミナーなど

で随時発信している。

- ・医療的ケアの必要な入所者が安心して生活できるように園内に診療所を併設し、内科、歯科、精神科、皮膚科などの診察、治療を行っている。
- ・最近のトピックスとして、白内障を発症し日常生活が困難になった入所者のための支援のあり方を慎重かつ多面的に検討し、手術まで「ぎっけ」が無事に治療に成功しQOLが術前以上に回復した事例は他の施設でも参考になると思われる。

家族会のメンバーは兄弟姉妹が約7割の多数となり、親亡き後の家族会の姿になっている。

- ・平成30年度の入所者89名に対する家族（保護者）の構成は、兄弟姉妹（含いとこ）…75名（69%）、第三者後見人…18名（17%）、父母（含叔父・叔母）…9名（7%）、甥・姪…6名（6%）となっている。
- ・入所者が高齢のため、保護者も兄弟姉妹が圧倒的に多くなっている。
- ・また単身者のための第三者成年後見人の割合も多くなっている。



- ・その内、厚木精華園家族会に入会登録している家族は89名である。
- ・家族会例会を毎月（原則第3土曜日）に開催。他に家族会総会及びその後の食事会（5月）、ラ・フェスタ（秋祭り 10月）、園の墓地の墓参りと盂蘭盆法要（7月）などがある。
- ・毎月の家族会の出席状況…最近の平均出席家族数は30家族でほぼ一定。
- ・入所者の高齢化と同様に家族会の会員にも高齢化が進行し家族会の活動に参加しづらくなる人が増えつつある。これまで行っていた家族会行事（旅行会、園庭清掃、バザー活動など）も縮小、中止の方向にある。

障害のある人たちが病気になったとき、ケガをしたときに備えて

神奈川施保連では、知的障害児者や自閉症児者が病気やケガをしたとき、また、そのために入院したときなどに備え、「やまゆり知的障害児者生活サポート協会」の運営に参加しています。加入資格、その他の詳細は、下記までお問い合わせください。

やまゆり知的障害児者生活サポート協会
〒221-0844 横浜市神奈川区沢渡4-2 神奈川県社会福祉会館内
TEL 045-314-7716 FAX 045-324-0426

る。加えて、家族会役員のなり手不足もあわさり、先細り気味の家族会の活動を今後どう維持し、できれば活性化していくかが最大の課題である。

- ・今年厚木精華園開園25周年、園、家族会、後援会共催で記念行事を計画中。
- 6月12日（水）…記念コンサート、9月11日（水）記念講演会を予定